



豊里

笑顔と歓喜あふれるふるスポ

「ふるさとスポーツ祭豊里地区大会」は7月5日、豊里公民館などで開かれ、28チーム約200人が参加し、さわやかな汗を流しました。
スポーツ祭は、グラウンドゴルフ、ターゲットバードゴルフ、ユニカールの3種目を実施。ターゲットバードゴルフでは、風の影響も計算した完璧な一打でホールインワンが出るなど、大いに盛り上がりました。晴天のもと、選手らは楽しみながら熱戦を繰り広げていました。

将来の仕事を考える好機会に

米山東小学校の「放課後子ども教室お仕事紹介」は7月3日、同校で開かれ、放課後子ども教室の利用児童約70人が参加しました。
お仕事紹介は、小学生の頃から、将来の職業について興味を持ってもらおうと実施。海上自衛官の佐藤友彦さんを講師に迎え、海上自衛隊の仕事内容、南極観測船「しらせ」の活動などを話してもらいました。児童らは、普段聞けない話に目を輝かせていました。



米山

元気なあいさつでつながる輪

青少年のための登米市民会議石越支部(佐藤文則支部長)主催の「あいさつ運動」は7月14日、石越小学校前など町内3カ所で実施され、児童らが元気にあいさつをしました。
あいさつ運動は、小中学校の児童、生徒、教職員の協力のもと、石越支部役員、地区推進員など約40人が参加。街頭では、参加者と児童が、元気にあいさつを交わし、すがすがしい登校になりました。



石越

自主性と協調性学んだ2日間

南方地区3小学校の6年生を対象とした「大嶽山キャンプ村2017」は8月1～2日、大嶽山交流広場で開かれ、各小学校から児童26人が参加し、小学校生活最後の夏に交流を深めました。
キャンプ村は、児童が交流しながら、協調性やリーダーシップを育成するために、これまで36回開催されています。児童らは、仲間との野外炊さんやキャンプファイアを楽しみ、よい夏の思い出を作りました。



南方

家族の大切さを改めて考える

青少年のための登米市民会議津山支部(橘智法会長)主催の「市民集会」は7月8日、津山老人福祉センターで開かれ、青少年の健全育成を推進しました。
同日は、「明るい家庭づくり作文コンクール」で最優秀賞を受賞した小中学生が作文を発表。何気ない日常生活の中で感じた、家族の大切さなどを述べました。また、地域ジャーナリストの鈴木孝也氏が「謎のイナイリュウ」と題して講演をし、参加者は真剣に聞き入っていました。



津山

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

自然での遊び通じて交流深め

迫地区3小学校の5、6年生を対象とした「迫っ子サマーキャンプ」は7月27～28日、栗原市花山にある、国立花山青少年自然の家で開かれました。
サマーキャンプには2校から41人が参加。児童らは、ジュニアリーダーサークルのお世話のもと、沢遊びやキャンプファイアなどを通して交流を深めました。沢遊びでは、沢の中を歩き、水中での遊びに終始笑顔。サワガニなどを捕まえて楽しんでいました。

気分転換し安全運転を再徹底

登米地区交通安全協会登米支部(伊藤哲朗支部長)主催の「交通安全おしほり作戦」は7月26日、登米町交通公園で実施され、同支部員らがドライバーに安全運転を呼び掛けました。
「おしほり作戦」は、夏の暑さによりドライバーが集中力を欠き、居眠り運転などによる事故が多いことから実施。同日は、多くのドライバーに冷たいおしほりと交通事故防止啓発のチラシを渡し、安全運転を呼び掛けました。



登米



東和

アジサイが住民憩いの場所に

桐崎敬友会(岩淵正勝代表)主催の「あじさい祭り」は7月23日、米川桐崎地区で開かれ、来場者は咲き誇るアジサイの美しさに心を和ませました。
アジサイは、桐崎地区住民が同地区市道脇に植栽したもの。道路脇に設置された特設会場では、来場者に手作り料理やお菓子が振る舞われました。岩淵正勝さんは「あじさい祭りは今年で2回目。多くの皆さんの協力のもと、開催できました。長く続けたい」と意気込んでいました。

日頃の訓練の重要性を再認識

「登米市消防団中田支団消防訓練」は7月2日、石森ふれあいセンターで実施され、消防団員150人が日頃の訓練の成果を披露しました。
訓練は、消防団の団結強化、消防技能と団員の資質向上を目的に毎年開催。同日は、通常点検や機械器具点検のあと、小隊訓練および小型ポンプ操法の訓練競技を4地区団で競いました。競技の結果、浅水地区団が優勝。上沼地区団が準優勝しました。



中田